子吉川「大規模氾濫時の減災対策協議会」 子吉川　沿川住民に対する洪水についてのアンケート調査結果

質問事項	旧本荘市街地 （6団体）	上流部 （4団体）
平成25年7月、平成23年6月、昭和47年～昭和59年、昭和22年7月等の大規模な洪水を経験されたことはございますか？よろしければ、当時の状況・体験を教えて下さい。	◉昭和56年以前は何度も洪水の被害を受けた。 ◉平成25年7月洪水で避難している。消防団の避難誘導があった。 ◉堤防が出来てからは避難・洪水被害はない。 ◉大沢川排水機場が出来てからは避難・洪水被害はない。 ◉50年間、避難・洪水被害はない。 ◉内水による道路が冠水することがある。	◉昭和30年代には田畑の浸水被害があった。避難・家屋の被害はない。 ◉昭和50年代には何度も洪水を体験した。避難・家屋の浸水被害があった。 ◉平成23年洪水で鮎川右岸の堤防が決壊し、床上浸水があった。 子吉川出張所の指示により避難した。（水閘門操作員） ◉平成23年洪水では避難・洪水被害はない。 ◉洪水による避難・家屋被害はない。 ◉内水による田畑・道路の冠水は近年も発生している。
大雨や台風、注意報や警報、子吉川の水位　等の情報はどのような手段で入手されていますか？	◉テレビ（3件） ◉インターネット：由利本荘市HP・カメラ画像 ◉由利本荘市から自主防災組織あてメール配信・電話連絡 ◉由利本荘市の防災無線 ◉消防署の巡回 ◉ケーブルテレビの音声告知放送 ◉直接、河川で水位を確認	◉テレビ（2件）、ラジオ ◉国土交通省の携帯サイト ◉直接、河川で水位を確認（2件）
避難勧告・避難所開設　等の情報はどのような手段で入手されていますか？	◉テレビ ◉インターネット：気象庁HP ◉由利本荘市から自主防災組織あて電話連絡（連絡網を整備　2件） ◉消防のサイレン ◉ケーブルテレビの音声告知放送（2件） ◉自主防災組織の体制基準・防災マップ・防災チラシを作成。 町内で対策本部を設置、避難を実行。 ◉避難の経験が無い（ハザードマップは知っている）	◉テレビ ◉由利本荘市から自主防災組織あて電話連絡（4件：連絡網を整備　1件）
最寄りの避難所、その避難所までの避難ルートはご存じですか？由利本荘市「わが家の防災マニュアル」等のハザードマップは活用されていますか？	◉活用している（6件） ◉ハザードマップの利用を町内で推奨している。 ◉自主防災組織の防災マップを作成している。 ◉消防署講師による避難訓練を実施している。 ◉避難訓練により避難所までの移動時間を確認している。	◉活用している（4件） ◉2年前に避難訓練を実施している。
実際の避難行動で困っていることがありますか？	◉市の補助金で機材等を整えている。不足は無い。 ◉災害時の要支援者からの協力要請への支援体制を整えている。 ◉避難訓練を実施していない。講師を派遣してもらえれば勉強会等を実施しやすい。 ◉被災経験が無いため、防災について関心が無いように思うことがある。 活動に不参加の人がいる。 ◉少子高齢化により高齢者のみの世帯の対応が困難と思われる。 ◉一人暮らしの高齢者・障害者の対応が具体的になっていいない部分がある。 ◉町内会に加入していない人がいる。	◉特にない（3件：集落が高所にある、経験が無い） ◉自主防災組織の諸活動に積極的に参加してもらっている。 ◉避難場所に毛布や非常食のストックがない。 消防団の炊き出しも地元で対応している。 ◉国道108号が水没した場合、迂回ルートが遠距離になり孤立する可能性がある。高齢者が孤立しないための対策を考える必要がある。
その他、ご意見等	◉指定の避難場所が高齢者・傷病者には遠すぎるため、町内の安全と思われる建物に一時的に避難している。 ◉被害の経験は無いが、善応寺川に排水ポンプ車・排水機場等を整備してもらいたい。	